

住まいるニュース

Vol.65



耐クラッククロスについて

新築に住まい始めてメンテナンスが必要になりやすいところ、実はそれがクロス（壁紙）です。

クロスが割れたり歪んでしまうということは意外と珍しいことではないのです。

それは、何故でしょうか？

お家に使われる木材は、建ってからも呼吸をを続けています。

夏は湿気を吸って膨張し、冬は乾燥して収縮をし、乾燥時は木材幅の約1%ほど収縮するとも言われています。その際影響を大きく受けるのはクロスです。

木材が伸縮した結果、紙で作られたクロスは引っ張られたり縮んだりすることで、ひび割れたりすることがあります。木材の特性上どうしても避けられない現象ですが、それらを軽減してくれるものがあります。それが『耐クラッククロス』です。

クラックとはひび割れを意味し、ひび割れにくいクロスとも読み替えることができます。

耐クラッククロスは特に裂けやすいクロスの表層が伸びて木材の伸縮に耐える仕組みとなっています。

一般のクロスは幅が2.0mm以上開くと裂けてしましますが、耐クラッククロスは2.0mm程度では変化はほとんど見られません。



また、収縮にも柔軟にクロスの表層が傷んでしまうことを防止してくれます。

普段の生活でクロスに触れてしまうこともあります。これらは繰り返すと擦り切れてしまってクロスが傷んでいきます。これらの擦れにも強く、普段触れてしまうような箇所にもおススメできるクロスとなります。採用する箇所は大きく木材が動く階段部や吹抜け部のクロスとしてはもちろんのこと、見た目は普通のクロスのため、どこにでも採用いただけます。

クロスは家のイメージを決める大事な要素ですが、耐久性にも注目されてはいかがでしょうか。

建設中現場のご紹介



S様邸(福知山市)



T様邸(福知山市)



丹波モデルハウス(丹波市)



I様邸(福知山市)



K様邸(三木市)



A様邸(福知山市)



S様邸(綾部市)



O様邸(福知山市)



B様邸(福知山市)



M様邸(福知山市)



H様邸(福知山市)



K様邸(福知山市)

住宅事業部
STAFFコラム

燻製のススメ

普段食べ慣れたものをひと手間で大きく変えてくれるそれが燻製です。



今回の担当は、**営業 米田 義康**です。
燻製は卵やチーズなど見慣れたものからお肉や魚など多岐に及びます。燻製を作るといって煙が出て大変なイメージがあるかと思いますが、今回は一番手軽で煙もあまり気にしなくてよい燻製法という方法を使った燻製をご紹介します。

燻製法による燻製は主に、素材に燻煙をかけることによる風味付けといった意味合いが強い手法です。

80度～130度ほどの高温での煙による蒸し焼きといったイメージです。

高温での燻製ですので燻煙をかける時間も数十分から1時間程度です。

燻煙法とは、キッチンで換気扇を回して中華鍋や無ければお鍋に100均の網を敷き、鍋底に引いたアルミホイルの上でチップを熱するのみです。煙も換気扇で吸われてしまいますので、部屋が煙臭くなることもありません。

一度作れば冷蔵庫に保存してもそれほど風味は落ちませんので、ちょっとしたパーティ-のつまみや、夕食の1品などに是非手軽な燻製を試してみたいはいかがでしょうか？



ヨネダの住宅ラインナップ

■未来を担うゼロエネルギー住宅

■想いがカタチになる家

■セレクトプランの家



お家づくりの参考にぜひ、ご覧ください♪



省エネの工夫で消費エネルギーを減らし、使うエネルギーは自ら創り出す。究極のエコロジー住宅です。

内装・外装材全て自由にデザインも思いのままに楽しめる遊び心満載の家。ご家族の想いをカタチに心地よい暮らしを実現します。

安心機能が全てセットのセレクト定額制プラン。家づくりに精通したヨネダから自信を持っておすすめするベストプランが詰まっています。



株式会社ヨネダ 本社
住宅事業部 篠山店

0120-406-217
0120-404-309



お友達募集中